2 つながれてゆく世界　（ここでは3人の男が登場）

ヨーロッパのスペインやポルトガルは、アジアへ進出したいと思っていました。

- イスラム教徒を通さずに、コショウなどの香辛料や、絹織物などアジアの産物がほしい
- 植民地をつくってもっと領土を拡大したい。

こういう目的があり、航海や探検してくれる人を支援する。（スポンサーになる）。

1人目の男　初めてアメリカ大陸に到達した男

= 西インド諸島

（コロンブス）

1492年、スペインの支援を受けて、コロンブスはインドを目指します。

「発見した！」と思ったのは、インドではなくアメリカ大陸でした。そしてアメリカ大陸を支配し、スペイン領とします。

（※ちなみに、コロンブスは死ぬまで自分が発見したのはインドだと思い込んでいました。そのため、先住民のことをインディアンやインディオと呼ぶ習慣はここからきています。現在アメリカでは先住民のことを（ネイティブアメリカン）と呼んでいます。）

スペイン人は銀の採掘などのために先住民族を酷使します。

また、さとうきびなどの輸出用の作物をつくる大農場（プランテーション）もつくられました。

労働力としてアフリカから数多くの（黒人奴隷）が連れて来られた。